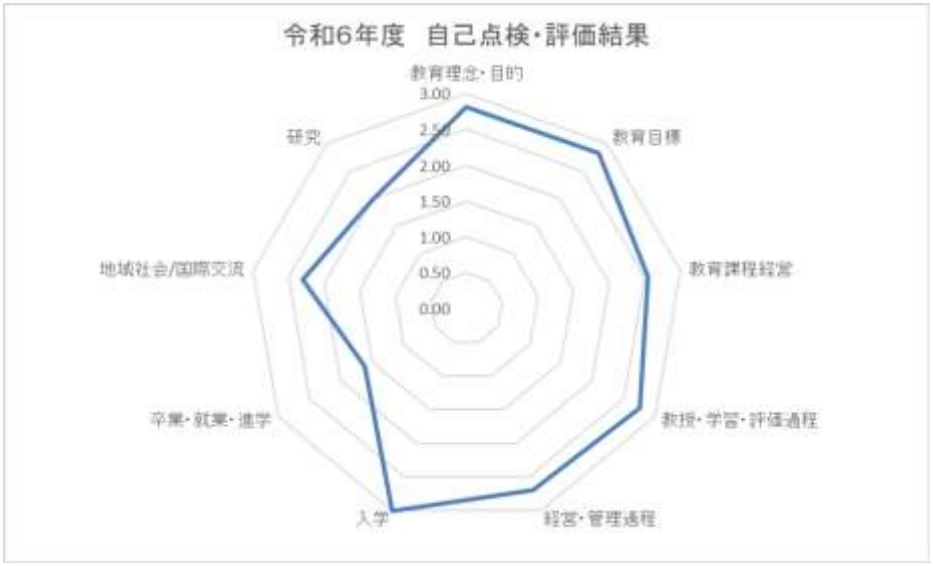
令和6年度　新潟県立新発田病院附属看護専門学校　学校評価（授業評価の結果）

令和7年5月

Ⅰ　令和6年度の自己点検・評価の結果

1. カテゴリー別自己点検・自己評価結果



各カテゴリーの平均点（3.0 満点）

項目	平均点	項目	平均点
Ⅰ　教育理念・目的	2.8	Ⅵ　入学	3.0
Ⅱ　教育目標	2.8	Ⅶ　卒業・就業・進学	1.6
Ⅲ　教育課程・経営	2.5	Ⅷ　地域社会/国際交流	2.3
Ⅳ　教授・学習・評価過程	2.8	Ⅸ　研究	2.0
Ⅴ　経営・管理過程	2.7		

カテゴリーⅦが低かった。卒業後の就職先での評価の把握や卒業生の就職先との情報交換の体制がない。また、卒業生の就業状況（臨床実践能力等）を把握しておらず、評価が低かった。また、卒業生の就業状況の分析が教育目的・目標、授業の展開に活用されていない状況である。卒業生の就業状況を把握するための体制が必要である。

2. 領域別実習評価アンケート結果

地域・在宅看護論実習を除く、領域実習で実施した。紙面で記入し無記名で提出してもらった。回収数189，回収率 69.2%であった。各項目 4.0 点満点のうち、項目平均が 3.90 であった。全体的に得点が高く、実習指導評価に対する学生の真意が反映されているか疑問がでた。実習指導体制について様々な学生の意見を反映できるアンケート用紙の作成、及び回収方法を検討する必要がある。

3. 卒業までに身につけておく能力の修得状況に関するアンケート調査結果

当校のディプロマポリシーの 4 つの力①豊かな人間力②看護を実践する力③探究する力④連携・協働する力について、行動目標を各々9 項目、10 項目、5 項目、5 項目あげ学生に 4 段階（4 点満点）で自己評価をしてもらった。その結果、①は 3.82　②は 3.74　③は 3.57　④は 3.70 であった。「豊かな人間力」に関する項目の自己評価は高く、「探究する力」は低かった。今後主体的な学びに繋がる教育活動が求められる。

Ⅱ　学校関係者評価委員からの意見

1. 学修成果とディプロマポリシーとの関連性については他者評価が必要である。
2. 卒業生の状況については、新人の技術や知識に関してラダーで評価している。その情報を活用しながら卒業生の活動状況を把握することも可能である。

Ⅲ　令和７年度の取組

1. 卒業生の活動状況について、就職先の看護管理者をとおして情報を頂き、当校のディプロマポリシー達成状況を評価する。
2. 学生から実習指導、実習環境について、広く意見が反映される実習評価アンケートを検討し実施する。